

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	定期開催が定着し、実りのある会議となる取り組みにしていく。	年間計画を作成し定期的な開催を行う	5月、7月、9月、11月、1月、3月の年6回を設定し計画的に行う。	12ヶ月
2	20	馴染みの場所や人を把握し、関係性が途切れないよう支援を行う	生活歴や生活環境を知り、本人の馴染みの関係性が保てるように支援していく	家族や本人に話を聞き、生活歴や生活環境を再度確認していく。また、カンファレンス通じて、プランに反映し、支援に繋げる	6ヶ月
3	23	家族からの情報や個人記録・日々のケアの中で本人の意向や希望を汲み取り支援につなげるようにしていく	家族の面会や日々のケアの中で希望をくみ取りながら、支援を行う。	利用者の言動や表情など、小さな気づきを記録し積み重ね、カンファレンスを通じて、プランに反映し支援に繋げる。	6ヶ月
4	33	利用者や家族からの意見を聞きながら、指針の説明や重度化や末期の方針を共有していける。	家族会を通じて、利用者や家族の意見を聞き、指針の説明や方針を共有していく。	家族会開催時に重度化や末期の指針についての話しを行う場を設け、方針の共有をしていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。